

作成：2023年12月26日 中川亜紀治（2022－2023年度事務局長）

## VLBI 懇談会 2023年度 総会 議事録

以下に2023年度VLBI懇談会総会の内容を記す。

開催日時： 2023年12月14日 17：20－18：10

開催場所： 新潟大学 五十嵐キャンパス

進行：中川亜紀治（2022－2023V懇事務局）

議題については、2023年12月14日V懇メーリングリストへの配信メール（[v-con 955] 2023年度VLBI懇談会総会資料）に添付の「20231214\_VLBI懇談会総会資料.pdf」を参照下さい。

### 1. 2023年度会計報告 及び 会計監査報告

- ・資料に基づき事務局より説明したうえで、下記の参加者とのやり取りがあった。

質疑：

Q：シンポジウム経費2万から実費が大幅に増えているのはなぜか。今後も予算を上回る場合は再検討が必要との意見。

A(事務局)：今年度の新潟大学開催の会場費が想定より多かった。実情にあった予算組みを検討する。V懇シンポの独立採算なども視野に議論が必要との役員意見もある。

- ・会計監査委員の小川さんから、会計監査の結果は問題無かった旨の報告を頂いた。

### 2. 役員選挙の結果

資料に基づき事務局より選挙の結果を説明。全国幹事については定員4名のところを、得票数が同数の方が3名あったため、5名を全国幹事とすることを提案した。

質疑：

Q：投票数は会員全体に対してどの程度か。

A：投票数は76票。会員数135名を考えるとやや少なめ。過半数は超えている。

上記の質疑ののち、総会で了承を得た。事務局からの提案が全て了承され、次期の役員は下記の通りとなった。

会長： 小林秀行

事務局長および事務局： 佐野栄俊（事務局：岐阜大学）

全国幹事： 今井裕，岳藤一宏，赤堀卓也，小山翔子，藤澤健太

（定数4名だが3位の同票数が3名のため、5名の着任となった。）

機関幹事： 関戸衛（情報通信研究機構）

青山雄一（国立極地研究所）

米倉覚則（茨城大学）  
 中川亜紀治（鹿児島大学）  
 佐野栄俊（岐阜大学）  
 三澤浩昭（東北大学）  
 新沼浩太郎（山口大学）  
 寺家孝明（国立天文台）  
 本田昌樹（国土地理院）  
 土居明広（JAXA/宇宙科学研究本部）  
 小川英夫（大阪公立大学）  
 大木愛花（学生幹事）

### 3. 2024年度の活動方針

資料に沿って説明。特に質疑はなく、会場での了承を得た。

### 4. 2024年度予算案

- ・資料に基づいて説明を行った。質疑の後、下表の内容が了承された。
- ・次期会計期間は2023年12月7日～2024年12月31日
- ・質疑：

Q：集録の制作、発送 会員も電子版と製本版を選ぶようにしては？

A(事務局)：所属変更確認や意思確認など、事務局の負荷が大きく非現実的。今のところその対応は考えづらい。

Q：次年度の会場が決まっていれば会場経費を予め算出できるのではないか。

A(事務局)：確認することは可能である。今回は間に合わなかった。

#### 収入の部

収入合計	¥824,729	備考
前年度繰り越し	¥605,729	
会費収入	¥219,000	正 109x 2,000円（在外15名除く） 学 1人x 1,000円

#### 支出の部

支出合計	¥824,729	備考（実績など）
2023年度V懇シンポジウム集録作成・発送費	¥100,000	8.0万円（2022）、5.9万円（2021） 9.1万円（2020）
2023年度V懇シンポジウム経費	¥50,000	表彰の副賞代、アルバイト代など、2023年度新潟シンポジウム終了後に発生する経費
2024年度V懇シンポジウム経費	¥20,000	表彰の副賞代、アルバイト代など
役員会旅費・関連経費	¥10,000	役員会はZoom開催が定着、減額。
繰り越し予定	¥644,729	

## 5. 2023 年度の活動報告

- ・資料に基づき報告を行った。

また、下記の(1)から(3)の観点について役員会での議論を紹介して、会場からの意見を募った。次期役員会でも引き継ぎ、時間をかけて議論することが必要である。

(1) 全国幹事の被選挙人から在外研究者を除く慣行の見直しについて役員会で議論したことを紹介。

(2) 年会費を徴収するかしないか、年会費のあり方について議論。

\*年会費の使途は集録の印刷費、V 懇シンポでのアルバイト代や雑費（文房具類）。V 懇シンポの参加費を徴収し、シンポを独立採算としてそこから会場費などを捻出する考え方もある。

\*シンポを参加費制にすると、入ってくる金額の予想が立てづらいデメリットあり。また参加費制については、立場や所属機関により多様な反応がある。

(3) 年会費の使途について

\*現在は集録印刷費が主な使途であるが、電子版に変更することで必要経費は大幅に削減される。会費は徴収したうえで、学生の旅費補助に活用できないかとの意見もでた。

\*在外会員は会費免除になっている。

これは会費の支払いが現実的に困難であることが理由である。海外送金には高額な手数料がかかり、会費が 2,000 円であることを考えると非現実的である。

- ・資料に基づき、3つのワーキンググループの活動報告を行った。

ソフトウェア共有 WG の報告の際、VLBI の撮像原理やデータ解析手順の学習用ウェブサイトが話題に上がった。過去に作成されたいくつかの学習用サイトも、現在ではサーバーの運用停止などで多くが使えない状況になっている。そこで「解析教材 WG」の発足が議論された。引き続き役員会でも検討する。

## 6. 通常業務

資料に基づき報告を行った。特に質疑なし。

以上